



没後50年 鏑木清方展

と き／5月27日(金)～7月10日(日) 9:30AM～6:00PM
 ところ／京都国立近代美術館 (月曜休館)
 京都市左京区岡崎公園内 ☎075-761-4111

上村松園と並ぶ東の美人画家として定評のある鏑木清方(1878-1972)の没後50年記念の本展は、京都においては実に45年ぶりの開催となる規模の展覧会である。江戸の面影を色濃く残した東京に生まれた、生粋の明治東京人たる清方は、その生涯にわたり江戸や東京にまつわる作品を多く残した。その中の代表的な作品が、長らく行方が分からなくなっていて、2018(平成30)年に漸くすがたを現わした《築地明石町》。清方の代表作というだけでなく、近代日本画壇の美人画の最高峰に位置付けられてもいる。同時に現われた《浜町河岸》《新富町》とあわせて東京国立近代美術館の所蔵となったことから、京都でも三部作の全会期展示が実現した。



「浜町河岸」 1930(昭和5)年
 「築地明石町」 1927(昭和2)年
 「新富町」 1930(昭和5)年
 いずれも東京国立近代美術館所蔵 ©Nemoto Akio

また、江戸・東京の風俗画だけではなく、戯作者であり、毎日新聞の前身にあたる東京日日新聞の創刊に関わった父・條野採菊の影響により幼い頃より親しんだ文学、芝居、歌舞伎、落語に取材した作品でも知られる《一葉》《野崎村》などの代表作も全て会期中ずっと展示される。

「絵になる京都」 2022春期コレクションルーム

と き／4月29日(祝)～7月10日(日) 10:00AM～6:00PM
 ところ／京都市京セラ美術館 (月曜休館)
 京都市左京区岡崎公園内 ☎075-771-4334

京都の四季とともに京都市美術館所蔵の名品と出会えるコレクションルーム。長く日本の文化の中心地である京都は、その景観や風土、風習など独自の個性を持ち、その個性は京都に暮らす人々によって守り育てられてきた。その文化は絵画にも見られ、古くは洛中洛外図をはじめ、近代、現代に至るまで多くの画家によって魅力あふれる京都の姿が伝えられてきた。



伊藤快彦《鴨川真景図》
 1898(明治30)年 油彩



千種掃雲《ねぞめ》
 1911(明治44)年 丙午会春季展

春期展では、寺社仏閣や自然、近代化する街並、現代に残る風情など、時代を超えて描かれた「絵になる京都」を特集して紹介している。例えば今から115年前の鴨川(出町三角デルタ付近)を描いた伊藤快彦《鴨川真景図》。当時はまだ今出川の賀茂大橋はなく、比叡山も禿山に近い。広い河原で野点を楽しむ人物像は勿論、蒔絵に彩られた額装には京都の工芸職人による手わざの粋も楽しめる。ゆったりした浴衣の婦人像の背後に広がる京の町並みと河原の友禅流し。それらをさりげなく描く千種掃雲《ねぞめ》(1911年)も必見の作。

その他、日本画、洋画、工芸、陶芸作品を様々な視点から選び出す「春から初夏へ、燃立つ季節」の季節感溢れる展示作品は、奥深い京都市美術館コレクションならではのこ。

会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	7/1						
		水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金						
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	2F	祇園祭 - 鷹山復興記念展 -																→ 7/8																				
		案内一洋(まつもと・いちよう)展																→ 7/31																				
	3F	鈴木敏夫とジブリ展																																				
	4F																																					
	5F	第36回「竹の会」木版画展																第75回 京都丹平写真展											2022 京都日本画家協会 第9期展 → 7/3									
	《十人十色百角百巡》 栄美子 戸田 ロープとニューゼ ファーズ キルト展																																					
6F																	浪曲																					
別館																	第37回 建築家展											音楽会 音楽会 音楽会 音楽会										
京都学・歴史館 左京区下鴨半木町1-29 723-4831	企画展 「明石博高 - 京都近代化の先駆者 -」																京都学ラウンジパネル展「京都府内の文化遺産 - 令和3年度指定・暫定登録等文化財について -」(8日休館)																					

会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	7/1
		水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
京都国立近代美術館 左京区岡崎公園内 761-4111	3F	没後50年 鏑木清方展																														→7/10
	4F	MONDO 映画ポスターアートの最前線																														→7/18
		2022年度 第2回コレクション展																														→7/18
京都国立博物館 東山区東大路七条西 541-1151		次回特別展 「河内長野の霊地 観心寺と金剛寺-真言密教と南朝の遺産-」 会期2022(令和4)年7月30日(土)~9月11日(日) ※会期中、一部作品の展示替を行います。 前期:2022年7月30日(土)~8月21日(日) 後期:2022年8月23日(火)~9月11日(日)																														
京都市 京セラ美術館 左京区岡崎公園内 771-4334	本館	コレクションルーム(京都市美術館所蔵品展示) 春期 特集「絵になる京都」																														→7/10
		ボンベイ展																														→7/3
		第62回 日本南画院展 京都展	第7回同じ刻を生きる作家展	第41回汎具象展	Ge展	→7/3																										
		第108回光風会展	第81回美術文化展	第67回青塔社展	第44回 日本新工芸展	→7/3																										
	東山キユーブ	森村泰昌:ワタシの迷宮劇場																														
	別館1F	第63回 京都写真連盟写真展	第33回 現代パステル協会 関西展	第45回日本染織作家展	第13回K2展	第36回 関西扇面芸術展	→7/3																									
別館2F																																
京都府立文化芸術会館 河原町府立病院前 222-1046	1F	75回晨鳥社展 (日本画)	ベクトル彫刻展 (彫刻)																			日本画博(BAKU)展	二科会 京滋支部展 (洋画)	→7/3								
	2F																															
	3F	刻慈苑展 (彫刻)																														
京都府立堂本印象美術館 北区平野上柳町26 463-0007		包むを彩る-ふろしきデザインの美-															展示替え休館										コレクション展 旅する印象 -画家が見つめた、ひと・町・自然-					→9/25
何必館・京都現代美術館 東山区祇園町北側 525-1311		北欧、光の調べ Pentti Sammallahti展																														
高島屋 下京区河原町四条下ル 221-8811	画廊	石踊 紘一 素描展	~さわやぐ~ 京の竹工藝展	鈴木 徹展 -緑釉と三彩-	襲名二十周年記念 十四代 中里太郎右衛門展	世界は色彩に満ちている 千住 博展	→7/11																									
	美術工芸サロン	漆の装藝2022 -表城-山村 慎哉 漆展	岸野 承・寛展 <彫刻・陶芸>	亀塚 開窓十五周年 眞清水 福山 茶陶展	備前×織部 中原 幸治×深見 文紀 陶展	夏 的茶道具展	→7/11																									
	グランドホール	京うちわ 阿以波うちわ展																														
大丸 中京区四条高倉 211-8111	画廊	小暮真望 版画展 自然美への讃歌・日本百名山	青白磁 -来- 久保田烈工 陶展	金子絵理 日本画展	近代洋画の旗手たち展	日本新工芸 近畿会選抜展	→7/5																									
	アートサロン	神山結子テキスタイル展	真砂美塾展	平井宏明 ガラス展	河本真里 日本画展 「風のうた」	荒尾元・出井豊 二人展	→7/5																									
	ミュージアム	休業日・営業時間・催事内容などが変更になる場合があります。公式HPでご確認ください。																														
中信美術館 上京区下立売油小路東入 417-2323																																
並河靖之七宝記念館 三条通北裏白川筋東 752-3277		2022年度保存修復事業に伴う長期休館(2023年春まで)																														
美術館「えき」KYOTO JR京都伊勢丹7F 352-1111		陶芸家 辻村史朗																		時間~TIME BOWIE×KYOTO×SUKITA リターンズ 藤田正義写真展										→7/24		
会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	7/1
芦屋画廊 KYOTO 左京区 頭町357-8 754-8556		常設展示																														
アートギャラリー博宝堂 左京区岡崎神宮道東側 771-9401																	小森文雄水墨展(月曜休廊) 11日14:00~ライブペイント										手作り アートマルシェ					
アートギャラリー 鷹休堂 東山区東山五条上ル西入ル 541-3805		常設展(北側店舗)																														
アートスペース 柚(ゆう) 東山区二条通東山西入 090-6916-5353		小林真心・綾乃・寺田早月 カリグラフィックススペース アート展																			堀井たまみ洋画展 (月曜休廊)	てしごと展(水曜休廊) -瓜生山の天女たち3rd- 京都芸術大学通信染織卒業生					→7/3					
綾小路ギャラリー 武 下京区綾小路高倉東入ル 351-4787		火耀会(色えんぴつ画) 安岡祥子陶芸 合同作品展															五人展															
芸艸堂画廊 中京区寺町二条下ル 231-3613		木版画常設展(貸画廊受付中)																														
絵草子 東山区新門前通東山西 551-9137		浮世絵・木版画・新版画常設展																														

企: 企画および常設を中心に活動する画廊 貸: 貸画廊

武田 浪 遺作展

と き／5月31日(火)～6月12日(日) 12:00～7:00PM
ところ／ギャラリーマロニエ (月曜休廊)
京都市中京区河原町四条上ル ☎075-221-0117

大地に育まれた陶土に造形を施し、繊細な自然釉で仕上げられた創造性豊かな武田浪の作品は、あたかも大地が生み出したかのような荒々しさと、力強さと、そして鑑者を包み込むような優しさも孕んでいます。

彼の陶房に残るおびただしい遺作の中から、人間本来の喜びを感じられるものをと願い、作品を選別いたしました。

闘い続けてきた彼の幅広い創作活動の一端を紹介できればと、その足跡を追いかけてみました。

Gallery4では作家蔵の作品を年代別に、gallery3では酒器・花器等を展示致します。是非ご高覧ください。



2010年作

武田 浪 略歴

- 1942年 大阪に生まれる (本名浪人)
- 1961年 近畿大学理工学科金属工学科 入学
- 1963年 なんばデザイナー学院 入学
- 1964年 近畿大学理工科 中退
- 1966年 陶芸家 東憲氏に学ぶ
- 1969年 カリフォルニアに渡る
- 1972年 セラミックデザイナーとして米国永住権を獲得
- 1976年 米国在住の画家 八島太郎に師事
- 1977年 帰国 滋賀県近江舞子に築窯
- 1992年 浪人を浪に改名 京都を中心に各地で展覧会開催
- 2017年 沖縄で展覧会開催中、急性心筋梗塞のため永眠



1970年作



2000年作

黒田克正展

—キャバレー・ヴォルテールは開いているか—

と き／6月14日(火)～7月3日(日) 11:00AM～7:00PM
ところ／ギャラリーなかむら (月曜休廊)
京都市中京区姉小路河原町東入 ☎075-231-6632

僕は「絵を描くこと」の意味を考え続けてきた。
それは絵の原点に戻る過程でもあった。
日々、僕の眼と五感を通じて、絵とともにあること。
加わり続け、また薄れゆく記憶。
高揚しながらやってくる感情、感覚の残滓。
その重なりの中にも僕がいて、絵がある。
実感の無い記憶の断片…それは美とは裏腹なものだ。



夏の記憶



夜更の出発

気候変動、疫病、そして戦争、残酷な時間の停止。抑圧感…実感の無い恐怖。僕に、何が出来る？ 何が出来る？
今僕は時の真ただ中に、ただいるだけだ。元に戻って、とりあえず夢中に落書きを続けよう。
あのキャバレー・ヴォルテールは、僕に開いているか。

黒田克正

黒田克正 略歴

- 1969 武蔵野美術大学造形学部美術科油絵専攻卒業
- 1970 東京藝術大学大学院美術研究科 (油画) 修了
- 1988 「第17回日本国際美術展 (毎日新聞)」大賞
「'88「絵画…今」展」(～'90)京都市美術館
三重県立美術館 埼玉県立近代美術館 他
- 1989 「アートエキサイティング89」日豪交換現代日本美術展
埼玉県立近代美術館
「JAPANESE WAYS WESTERN MEANS」
クイーンズランド州立美術館 (オーストラリア)
「具象絵画ビエンナーレ」「安井賞展」(90)
「大阪絵画トリエンナーレ1990」
- 1990 「シナジー 21・黒田克正」展 シナジー 21実行委員会
村松画廊 (東京)
- 1993 パフォーマンス「即興的素描」と作品展示 長谷川きよし
Febian reza Pane 埼玉県立近代美術館PMC
舞台美術「夢の一日」舞踏：大野一雄 音楽：三宅榛名
シアター X (東京)
- 1998 「ニュービジョン サイトマ 黒田克正 稲憲一郎 小山穂太郎」展
埼玉県立近代美術館
- 2001 二人の画家の絵画によるコラボレーション
「同描異夢」齋藤真成 黒田克正 (京都女子大学体育館)
(作品展示) ギャラリーなかむら・山形美術館
ギャラリー東京ユマニテ
「京都・洋画の現在」展 京都文化博物館
- 2007 「GONGJU INTERNATIONAL ART FESTIVAL 2007」
Limlip Art Museum (韓国)
- 2012 京都女子大学大学院「こころの相談室」壁画制作
- 個展 ギャラリー東京ユマニテ ギャラリーなかむら (京都) 他多数
- パブリック・コレクション 安田火災東郷青児美術館/坂戸市/京都市立鋼駝美術工芸高校/滋賀県立近代美術館/京都女子大学/山形美術館/埼玉県立近代美術館/東京オペラシティアートギャラリー/京都市美術館/早稲田大学合津八一記念博物館

円祭 其之十七 開廊50周年記念
三輪 龍氣生 展 一百鳳集う一

と き／6月9日(木)～6月26日(日) 10:00～6:00PM
と ころ／大雅堂 (会期中無休)
京都市東山区祇園町北側301-2 ☎075-541-7388

まだ私も若い頃、大雅堂 庄司恵一さんからの御意向で私の個展を2回して下さいました。その頃、画廊主は油が乗り切っていて中々やり手の人だなあと思っていた。それから長い年月が経った。一昨年、私は陶号を改め龍氣生としての最初の個展を、山口県立萩美術館・浦上記念館で行った。そこへ全く見知らぬ青年が会場に突如現われて来た。聞けば大雅堂の当代であり、庄司雅一と言う。あの恵一さんの息子さんではないか。想像だにできなかった事でびっくりした。

私は急にタイムスリップして当時を思い出した。そう言えば御父君の下で修行している若い息子さんがいた。その彼は既に父親の言いなりではなかった。ほんの些細な事であったが親子の違いを私は幽かに憶えている。そんな事は痕跡もなく忘れていたのだらうと思ったら、意外にも彼ははっきり憶えていてその事実の詳細を話してくれた。親爺には親爺の思考があり、ジェネレーションの異なる息子には息子の捉え方があって当然である。

あれから幾月の息子さんが、今私の眼前にいる。ギャラリストとして実に存在感を持った成長振りである。これから先まだ一回りも二回りもの伸び代を予感させる。画廊創業者の父親にとって、何が幸せかと言ったら、この様な息子さんを持った事に勝るものはない。確か岡本太郎であったと思うが、「芸術家に二つの道があるとすれば、優れた芸術家は必ずより困難な道を選ぶ」と言っていた。私にはそんな大それた力は無いが、「自分がわくわく、はらはら、どきどきする方の道を選ぶ」と言いたい。

制作中の作品を前に、ここをこうやってみたらどうなるのだろうかと言う熱い期待で、土を取ったり、付いたり、何度も何度もやり直して、それは私にとっては山を動かすような大工事であるが、私の選んだ道ではいつの間にか興奮気味になり、スリルを味わったりもする。その騒動の中で、私は時々新しい自分に出会ったりする。そう言う自分が次のシリーズを背負ってくれ、新境地での出発になる。ここに並べられている作品達は皆この様にして生まれ出たものである。



「萩 窯変花月盃」
H9.7×W13.2×D12.2cm



「卑弥呼(蓋物)」
H19.5×W48.0×D27.5cm

略歴

1940年	三輪壽雪(じゅせつ)(十一代休雪、本名節夫(さだお))と貞枝の長男として、萩市に生まれる	2009年	個展「陶 愛と死の融合 十二代三輪休雪展」(バリ三越エトワール、日本橋三越本店、福岡三越)
1967年	東京藝術大学大学院陶芸専攻修了	2010年	個展「『龍人伝説』への道 三輪休雪展」(山口県立萩美術館・浦上記念館)
1977年	「ファエンツァ国際陶芸展」にて受賞(イタリア/ファエンツァ)	2011年	日本陶磁協会賞金賞受賞
1985年	エッセイ集『僕と炎と唇と』刊行(求龍堂)	2019年	龍氣生と改号(5月)
1988年	「サントリー美術館大賞展'88」(サントリー美術館)	2020年	「三輪龍氣生展-行け、熱き陶の想いよ。」(山口県立萩美術館・浦上記念館)
1999年	「日本の現代陶芸-前衛の動向 1990年代展」(オランダ)		
2003年	十二代休雪を襲名(4月)		

大森 翠 遺作展

と き／6月28日(火)～7月10日(日) 11:30AM～6:30PM
と ころ／ギャラリー Create 洛 (月曜休廊 最終日午後5時まで)
京都市中京区丸太町通堺町角 ☎075-708-7898

大森翠遺作展に際して：大森翠先生の作品に流れるモダンな色彩と軽妙なリズムで醸し出された大らかな構成は多くの鑑賞者に感動を与えています。弊ギャラリーの「創造する画家たち展」で展示して頂いた抽象作品はコラージュによってさらにリズム感を意識され、これからの創作の広がりを感じるものでした。水彩作品の柔らかく暖かい色彩も魅力的で、大森先生の思いやりのある優しさや凛として妥協を許さなかったお人柄が作品に反映されていたように思います。これからますます制作と発表を考へておられた途中のあまりにも突然の旅立ちに、ご本人が一番無念であったらうと拝察しています。本展では、学生時代から現在までの作品を展示します。先生の作品の変遷もご鑑賞下さい。



「Vin rouge (赤葡萄酒)」



「ドクダミ1-20」

ギャラリー Create 洛

コメント:はじめての遺作展を開きます。アトリエの棚から保管されている作品の一つ引っ

張りだし、傷めないように慎重にその箱を開けるや否や、まるで昨日描き上がったような絵の具の油っぽいや匂いを放ちます。叔母が今も絵を描き続けているかのように錯覚しコミュニケーションしている気分になりました。その中から時代ごとの作風の変化と、そのバリエーションの中を感じられて、改めて作品とその作家のファンになって頂けるような展示にしたいです。

(大森翠の甥、大森剛)

大森 翠 略歴

1968年	京都市立美術大学洋画科卒、卒業展で銀賞を受賞	1995, 1996年	日仏芸術家交流展(バリ、京都)
1968-1971年	カネボウ(株)でテキスタイルデザイン、ハイスピリットでテレビコマーシャル制作に従事	2003年	「京都洋画の現在(85人の視点)」(京都文化博物館)
1975-1978年	フランス政府給費留学生として国立ニース美術学校、国立バリ高等美術学校に学ぶ	2010, 2015年	個展(京都 アートライフみつはし)
1977, 1978年	ルサロン展、サロン・ドートンヌ展入選	2016年	個展(兵庫 西脇市岡之山美術館)
1978年	美術評論家・坂崎乙郎氏によるシリーズ企画「人間とは何か」で個展(東京 紀伊国屋画廊)	2016年	3人+関根勢之助展(京都 ギャラリーモーニング)
1981, 1984年	画家ニコラ・ド・スタール研究と絵画修復研修のため渡仏	2016年	大森翠 素描水彩展(京都アートステージ567)
1982, 1983年	「大森翠、黒川彰夫、平岡靖弘 3人展」(東京 文芸春秋画廊 資生堂画廊)	2017年	三菱京都病院 緩和ケア病棟に14点を取める
1982年	坂崎乙郎企画〈現代絵画の15人展〉(東京 ラ・ポーラ画廊)	2018年	京都市立美術館へ6作品を取蔵
1988年	個展(大阪府立現代美術画廊)	その他	1972年から現在まで個展、グループ展多数、絵本出版、本の装画、教科書・雑誌のカットなど多数
		1981-2006年	京都市立芸術大学非常勤講師、京都造形芸術大学非常勤講師
		2021年11月24日	没

		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	7/1
会場		水		木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
企	延寿堂ギャラリーソフォラ 中京区二条寺町東入 211-5552	休廊		加藤美樹(磁器) (木曜休廊)										休廊		石井佐枝(陶磁器) (木曜休廊)										→7/12								
企	御池画廊 北区小山上総町20-2 492-3083	洋画・日本画常設展(土日祝休廊)																																
企	カギムラ画廊 中京区河原町四条上ル東入 221-2996	日本画・洋画常設展																																
企	画廊後素堂 中京区新町丸太町下ル 231-0938	貸画廊受付中																																
企	画廊たづ 東山区神宮道三条西入ル 771-8225	日本画常設展 (日祝休廊)																																
貸	ざおんギャラリー八坂 東山区祇園町南側 525-1717	貸ギャラリー受付中																									たま&Shippoy シルバーと七宝のアクセサリー 初夏展(安部和美)			→7/3				
貸	喜聞堂アートスペース余花庵 中京区寺町通御池上ル 212-9793	屏風絵・古美術 常設展		KAGOYA写楽 「初夏の竹籠展」					屏風絵・古美術 常設展																									
貸	ギャラリーM 中京区錦雲師高倉西 221-0979	同時展「旅を絵にする。花菖蒲と邦楽展 ヨーロッパ中東編」・原画展 松本祐佳																																
貸	ギャラリー祇園小舎 東山区四条通繩手東入 551-3828	第25回 虹の会展			第12回 泥展			STADIOARCOBALRNO スタンドグラス教室展			寺田幸子 日本画展																							
貸	ギャラリー吉象堂 中京区三条柳馬場東 221-3955	第28回 銅駝美工 卒業生有志展					卒寿記念・藤澤彰子 個展～岩絵具の色に魅せられて			ギャラリー吉象堂 企画展 Part2																								
貸	ギャラリー Create洛 中京区丸太町通堺町角 708-7898	ペリーマキコ展 (日本画)			高井道夫個展(洋画)(月曜休廊)										増田力也展(洋画)			大森翠遺作展 (洋画)			→7/10													
企	ギャラリーK 中京区寺町二条下ル西側 255-7518	常設展																																
貸	ギャラリー恵風 左京区丸太町東大路東入 771-1011	1F 樋桁千波展(平面)	休廊		片山みやび展 (平面ガラス) (月曜休廊)										新美和季展(平面)			中島慎一展 (平面)			→7/3													
貸	ギャラリー胡々湾 東山区神宮道三条上ル 090-8367-1460	2F アラキドン展(平面)									福井悠展(平面)			伊智万莉奈展 (平面)			→7/3																	
貸	ギャラリー胡々湾 東山区神宮道三条上ル 090-8367-1460	美しき小物たち HINA-textile-studio (月曜休廊)															～ドバットと孫つつち展～																	
会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	7/1
会場		水		木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
貸	ギャラリー佐野 中京区寺町錦雲師西北角 221-2767	社会状況により休廊																																
企	ギャラリー三条祇園 中京区寺町通御池上ル 221-6401	歩く花 ～谷内薫個展																																
企	ギャラリー白川 東山安井東一筋日南 532-2616	常設展(月曜休廊)																																
貸	ギャラリー翔 左京区北山通下鴨中道東 724-8154	大内 二人展 (ペン画・銅版画)			陰画写真 二人展 花と草と木と					AJAC 京都展 (絵画造形等グループ展)					Ems Art 展(絵画等グループ展) (月曜休廊)												→7/3							
貸	ギャラリー16 東山区三条通白川橋西入上ル 751-9238	寺田就子展 「山のような雲」 (インスタレーション)			中村治彦 はるさんの思考展 (インスタレーション)										田中奈津子(絵画) 「隔離された絵画-Lukisan Yang Dikarantina」														→7/2					
貸	ギャラリーSpace妙 左京区松ヶ崎崎町1-1 090-6605-0656	妙なる箱展8 (6/30休廊)																											→7/10					
企	ギャラリー創 中京区河原町御池上ル 251-0522	常設展																																
企	ギャラリーTAJIRO 東山区繩手通新橋下ル 0774-27-1733	森内都 フォークロアな切り絵			プライベート利用					プライベート利用																								
企	ギャラリー鉄齋堂 東山区新門前東山西 531-6164	常設展																																
貸	ギャラリー富小路 下京区富小路下ル 090-7095-0576	休廊																																

【他所で見たい展覧会】

- 「つながる琳派スピリット・神坂雪佳展」：4月23日(土)～6月19日(日) 細見美術館(京都市左京区岡崎最勝寺町 ☎075-752-5555)
- 「コレクション～春へ、所蔵品による名品展」：3月19日(土)～7月3日(日) アサヒビール大山崎山荘美術館(乙訓郡大山崎町銭原5-3 ☎075-957-3123)
- 「無限齋碩叟一裏千家十四代千宗室とその時代」：4月22日(金)～7月3日(日) 茶道資料館(京都市上京区堀川寺の内上ル 裏千家センター内 ☎075-431-6474)
- 「漆・東洋の美を彩る素材」展：5月28日(土)～7月3日(日) 泉屋博古館(京都市左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町24 ☎075-771-6411)
- 「あつまれ! 朝鮮王朝の動物クリム」展：4月1日(金)～8月21日(日) 高麗美術館(京都市北区紫竹上岸町15 ☎075-491-1192)
- 「開館40周年記念・宇田荻邸展」：4月23日(土)～6月19日(日) 三重県立美術館(三重県津市大谷町11 ☎059-227-2100)
- 「開館記念・特別展、モディリアーニー愛と創作に捧げた35年」展：4月9日(土)～7月18日(祝) 大阪市中之島美術館(大阪市北区中之島4-3-1 ☎06-6479-0550)
- 「生誕150年・山元春挙」展：4月23日(土)～6月19日(日) 滋賀県立美術館(大津市瀬田大萱町1740-1 ☎077-543-2170)
- 「～浮世絵師たちが描く～絶景! 滑稽! なにわ百景」展：4月23日(土)～6月5日(日) 大阪歴史博物館(大阪市中央区大手前4-1-32 ☎06-6946-5728)
- 「歩々清風—日本画家 上村松園・松筭・淳之三代の歩み—」展：3月21日(祝)～6月12日(日) 松伯美術館(奈良市登美ヶ丘2-1-4 ☎0742-41-6666)
- 「特別展、開館20周年・関西の80年代」展：6月18日(土)～8月21日(日) 兵庫県立美術館(神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 ☎078-262-1011)
- 「開館50周年記念・和泉市久保記念美術館展」：6月18日(土)～7月24日(日) 西宮市大谷記念美術館(西宮市中浜町4-38 ☎0798-33-0164)

会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	7/1
		水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
企	ギャラリーなかむら 中京区姉小路河原町東 231-6632														黒田克正展 (洋画) (月曜休廊)														→7/3			
企	貸	ギャラリー中井 中京区木屋町三条上ル 211-1253	鞍馬画会				青木啓子 日本画展																									
企	貸	ギャラリー白梅園 北区北野上白梅町63 461-0427	白崎信子 ガラス作品常設展																													
貸	企	ギャラリーヒルゲート 中京区寺町三条上ル 231-3702	1F	大槻睦子 個展 (日本画)				海野厚敬展 六月の心臓 (新制作協会 会員) (ミクストメディア)				田島征彦展 (絵本原画と型絵染) (月曜休廊) 新作絵本『なきむしせいとく 沖繩戦にまきこまれた少年の物語』				第29回 心に響く小品展 (月曜休廊)				→7/10												
			2F	山根康代 小品展 -ドローイング・版画- (新制作協会 会員)				角りわ子 展 (陶)																								
		奥庭空間	信ヶ原良和 彫刻展 (彫刻) (月曜休廊)																													
企	貸	ギャラリー美楽堂 東山区神宮道三条上ル 761-9710	日本画常設展 (月曜休廊)																													
貸	企	ギャラリーマロニエ 河原町四条上ル東側 221-0117	3F	武田浪 (陶芸) (月曜休廊)								吉田佐和子 (版画) (月曜休廊)												→7/3								
			4F					岸本祥太「存在」 (日本画)				版画3人展 (版画) (月曜休廊)												→7/3								
			5F									市川信也 (写真) (月曜休廊)												→7/3								
企	貸	ギャラリー唯 左京区岡崎神宮道東側 752-0348	装展 (月曜休廊) 風間紀子 (オリジナルウェア) / ナラサキ・シノブ (アジア手織綿の服・小物) / kagari (服・小物)																													
企	貸	ギャラリー龍馬 河原町三条下ル東入 211-7700	「龍馬と酢屋」常設展																													
企	貸	ギャラリー正観堂 東山区切通新門前上ル 533-4110	常設展 (水・日休廊)																													
企	貸	ギャラリー宮脇 中京区寺町二条上ル 231-2321	常設作家展示 (鴻池朋子、黒須信雄、谷本光隆、西脇直毅、西村一成、齊藤彩、塔本シスコ)																													
企	貸	ギャラリー百音 (もね) 左京区岡崎神宮道東側 708-2138	常設展																													
企	貸	京都ギャラリー 中京区烏丸通錦上ル東側9F 257-5435	貸ギャラリー受付中																													
企	貸	京都芸大ギャラリーアクア 中京区御池通堀川東入 253-1509	京芸 transmit program 2022 小松千倫、阪本結、野村由香																													
企	貸	京都芸術センター 中京区室町錦薬師下ル 213-1000	FOCUS#4 伊東宣明「時は戻らない」																													
企	貸	京都市学校歴史博物館 下京区御幸町通仏光寺下ル 344-1305	常設展 (水曜休館)																													
会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	7/1
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金		
貸	企	京都写真美術館 東山区神宮道三条上ル 746-2931	清永安雄「樹々変化」																											→7/16		
		1F	ハブチユウスケ「ツムタム写真展」				PHOTOHOLICS写真展「Photoholic2022」				グループ展				アンシン・アナトリー写真展				→7/3													
企	貸	京都陶磁器会館 東山区東大路五条上ル 541-1102	陶芸作品常設展示																													
		2F	山本重行陶展 私の好きな生きもの達と人びと「君は何を願い、何を祈るのか」(木曜休廊)				上坂妙陶展 滯標 ～みおつくし～ (木曜休廊)				地区別懇話会展 - 東山北地区				休廊																	
貸	企	京都万華鏡ミュージアムアートスペース 中京区姉小路東洞院東入 254-7902	etote えほん教室展				絵画サークル彩葉 六色物語				洛彩グループ展				閉館時間・展示期間が変更になる場合があります。当館HPにて最新情報をご確認ください。				→7/22													
貸	企	堺町画廊 中京区堺町御池下ル 213-3636	それからの風のよしみ展 池田良則・石田社人・八田哲				下村順子陶展「そらに山と舟」				アフリカンアート展				絵本「コーヒーを飲んで学校を建てよう」原画展				うちなーの手しごと展				→7/3									
貸	企	里見有清堂 中京区堺町三条上ル 221-5423	貸画廊受付中																													
企	貸	蔵丘洞画廊 中京区御池寺町東入 255-2232	常設展		絵画と素描「原崇浩、三輪珠士、吉田友幸、忠田愛」(会期中無休)														休廊		常設展 (日祝休廊)											
企	貸	大雅堂 東大路通祇園上ル 541-7388															円祭 其の十七 開廊50周年記念展 三輪 龍氣生 - 百鳳集う - (会期中無休)															
企	貸	玉山名史刀 東山区三条通神宮道西入 708-8210	常設展/美術 刀剣・刀装具・兜・鎧など武器全般																													
企	貸	梅軒画廊 中京区烏丸四条上ル 221-3510	高資婷 First Exhibition				常設展																									
企	貸	星野画廊 東山区神宮道三条上ル 771-3670	明治・大正・昭和名作発掘品展 (日・月休廊)																													

【京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中】1年間¥2,000円です。毎月末にお手紙に届けられます。申込みは星野画廊(☎771-3670)まで振込用紙をご請求ください。
【短信】京都画廊連合会ニュースの展覧会紹介記事に掲載している作品の画像は、当画廊のホームページ (<http://www.kyoto-art.net/>) ではなく、すべてカラー図版として掲載しています。どうぞお楽しみください。

発行：京都画廊連合会 京都市中京区高倉三条上ル 京都府京都文化博物館内 (☎222-0895) <http://www.kyoto-art.net/>